

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	社会福祉法人慧誠会 遊学館「つ・な・ぐー」			
○保護者評価実施期間	令和6年11月25日 ～ 令和6年12月6日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	60名	(回答者数)	40名
○従業者評価実施期間	令和6年11月25日 ～ 令和6年12月6日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数)	5名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月10日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	大型遊具を使って体を動かしたり、活動できるスペースがあります。	活動内容や人数、また、その日の子ども様子や状況に応じて、必要な配慮をしながら活動場所を使用しています。	屋内の活動スペースだけではなく、屋外の資源（公園や児童会館、その他の社会資源等）も有効活用し、活動内容の充実化を図りたいと考えています。
2	同法人内に児童発達支援施設があるので、年長児等との交流する機会があります。	年長児療育を通じて、学齢児がお世話をしたり、役割等を担えるような機会を作るようにしています。 また、普段とは違った大人（職員）と関わる機会にも繋がっています。	引き続き、法人内の児童発達支援施設等と連携を取りながら、内容の充実化を図っていきます。
3	小学校を卒業する児童については、入学先の中学校への引き継ぎを行っています。	遊学館以外の場所（小学校、他事業所内、習い事等）での児童の様子を把握・共有する事で、多角的な視点で児童を捉えるようにしています。	親御さんや本人のニーズも把握しながら、中学校への引き継ぎについて定着を図っていききたいと思います。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	ご家族に対する家族支援の内容について、充実化を図る必要がある。	家族支援プログラムを学ぶ機会を設定できていない事や、ご家族等も参加できる研修会等の情報、資源等を把握できていない事が考えられます。	ご家族に対する家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）を学ぶ研修や、研修を通じて学んだ事を実践する機会を作れるよう検討していきます。
2	保護者向けの活動や、保護者同士の交流の機会が設けられていません。	保護者同士の交流や活動について、保護者のニーズを十分に把握できていない事が要因として考えられます。	保護者のニーズを把握した上で、どのような活動や企画が必要かを検討していきます。
3			